

**3**

(本問では、実数全体の集合  $R$  は、従来素朴に知っているものとして考えてよい。)

- (1)  $R$  の次の部分集合  $X_i$  に対して、最大値・最小値・上限・下限がそれぞれ存在するか。存在するならその値を解答欄に記せ。存在しないなら「なし」と記せ。

$R$ の部分集合	最大値	最小値	上限	下限
$X_1 = [-2, 3)$ $= \{x \in R \mid -2 \leq x < 3\}$				
$X_2 = (0, +\infty)$ $= \{x \in R \mid x > 0\}$				
$X_3 = \left\{ 1 - \frac{1}{n} \mid n = 1, 2, 3, \dots \right\}$				
$X_4 = \left\{ (-1)^n \left( 1 - \frac{1}{n} \right) \mid n = 1, 2, 3, \dots \right\}$				
$X_5 = \{x \in Q \mid x^2 \leq 3\}$				
$X_6 = \{x \in Q \mid x^3 \leq 5\}$				

- (2) 実数列  $a = (a_n)_{n=0}^{\infty}$  が正の実数  $\alpha > 0$  に収束 ( $\exists \alpha \in R : a_n \rightarrow \alpha > 0$ ) するとき、  
 $\exists c \in R : \exists N \in N : \forall n > N : a_n > c > 0$  となることを示せ。

(3) 実数列  $\mathbf{a} = (a_n)_{n=0}^{\infty}$ ,  $\mathbf{b} = (b_n)_{n=0}^{\infty}$  について、 $a_n \rightarrow \alpha$ ,  $b_n \rightarrow \beta$  ならば、 $a_n + b_n \rightarrow \alpha + \beta$  であることを示せ。